

いわて便り

No.11

2017年5月31日発行

5月号

日本生協連
組合員活動部

大槌町では仮設住宅で住民の相談や集会室管理などを行う支援員さんの体制が変わり、いままで常駐だったのが定期巡回だけになりました。談話室の利用も減っています。これまでのように「誰かに支援していただく」から「自分たちでする」と変わっていく時期なのかなと思います。(ふれあいサロン報告書より)



ふれあいサロン

毎月40回開催しています

<盛岡発：大船渡市平林南アパート団地>



新しくサロンを開始した仮設です。
これから楽しいサロンを毎月続けたいと思います！

<盛岡発：陸前高田市二日市仮設>



サロンボランティアの声

「サロンに来て皆さんと話をしながら作品を作るのが一番の楽しみだった！」と言っただき、とても励みになりました
(大槌町 小槌第14仮設)

ハートのポプリ作りをみんなで楽しんでいます(写真上)
参加者みんなで、1年間何をするか年間計画を考えました(写真下)



バスボランティア

4月22日に大槌町の菜の花プロジェクトで活動しました。本来であれば昨年に撒いた菜の花が咲いているところですが、残念ながら2016年8月に発生した台風10号による河川の増水で流されてしまったので、今回も整地作業とコスモスの種を撒きなおしました。

街の様子も変わりつつあり、大槌町中心部では盛土された街に電柱が立ち並び、住宅建設も始まりました。





食の支援 「生協料理サロン」を開催

宮古地域では2017年1月から仮設住宅に住んでいる方の食の支援として、「生協料理サロン」を開催しています。参加された皆さんは手際よく料理され、作った料理を食べながら交流しています。「みんなで集まると楽しい。今後も要望します」と喜ばれています。



「ちょっと多すぎて
食べきれないよねー」
「量が多すぎたんじゃない」



災害復興公営住宅の整備状況

岩手県、および沿岸市町村では、東日本大震災津波の被災者向け住宅として、災害公営住宅を整備しています。岩手県の公表によると、2017年現在、建設予定数 5,673 戸に対して、工事中 6.9%、完成 81%です。多くの市町村では完成していますが、山田町、大槌町、釜石市では建設中が多く、最も遅いところでは 2019 年の完成予定となっています。

他団体の 活動紹介

いわて生協では全国の生協から寄せられた募金を活用し、岩手県内で支援活動に取り組む団体を支援する「被災地支援活動助成金」制度を 2016 年度からスタートしました。このコーナーでは「被災地支援活動助成金」を活用している団体を紹介します。

今回ご紹介する団体は「シンセサイザー演奏を聴く会」です。富山県在住のシンセサイザー奏者である滝沢卓さんは、震災後、縁のあった岩手県の被災地に支援物資を贈る活動に取り組みされました。滝沢さんの活動を支援する「シンセサイザー演奏を聴く会」が主催し、5月25日～6月3日まで、主にいわて生協のふれあいサロンを行っている仮設住宅でコンサートを開催しました。

滝沢さんの曲から、誰もが知っている曲まで 10 曲ほどを演奏し、アンコールもあるなど、とても盛り上がりました。



5/25 陸前高田市片地家仮設住宅にて

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

小池、住吉